

第11回 日本古典籍セミナー

2023年 3月 26日 (日) 14:00~18:00

オンライン開催 (Zoom) ※時間はすべて日本時間です

能狂言研究への招待

― パフォーマンスと表象 ―

| 参加申込 |

■ 申込方法：申込みフォームにて事前申込み制

<https://forms.gle/HfsyxfMhsXZEiM866>

※申込みフォームがご利用できない方は、E-mailにてお申込みください。

宛先：ukiyoe2022@163.com

※この申込みを通じて得た個人情報は、連絡業務のみに使用させていただきます。

■ 申込締切：**2023年 3月 22日 (水) まで**

| プログラム |

14:00 開会の辞

14:15~15:15 第1部：世界のコレクション紹介

● シェラー クインタナ「ボストン美術館、その歴史と日本の収蔵品」

● 宮本 圭造「能楽資料の宝庫―法政大学能楽研究所の蔵書紹介―」

15:15~15:30 休憩

15:30~17:00 第2部：講演

● 山中 玲子「パフォーマンスの規則と記録」

17:00~17:10 休憩

17:10~17:55 質疑討論

シェラー クインタナ・宮本 圭造・山中 玲子

17:55 閉会の辞



| 講師紹介 |

● シェラー クインタナ (SCHERER Quintana)

神奈川大学助教・元ボストン美術館リサーチアシスタント。

専門は日本美術史、とくに浮世絵をはじめとする江戸時代の美術。博士（美術史）。

<https://www.mfa.org/> (ボストン美術館)

● 宮本 圭造 (みやもと けいぞう)

野上記念法政大学能楽研究所教授。専門は能楽史、芸能史、能面史。博士（芸術学）。

近年は江戸時代の能楽史を主として日本芸能史をめぐる諸問題について幅広く研究している。

<https://nohken.ws.hosei.ac.jp/> (野上記念法政大学能楽研究所)

● 山中 玲子 (やまなか れいこ)

野上記念法政大学能楽研究所教授。専門は能の作品および演出の研究。博士（文学）。

著書に『能の演出：その形成と変容』（若草書房、1998）ほか多数。

近年は、能楽研究所の事業の一環として「英語版能楽全書」編纂のプロジェクトを手がけている。

<https://www.hosei.ac.jp/pickup/article-20210128140846/>



[主催] 国文学研究資料館・北京外国語大学日本語学院・北京日本学研究中心

[コーディネーター] 齋藤真麻理・張龍妹



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国文学研究資料館
National Institute of Japanese Literature



北京外国語大学
BEIJING FOREIGN STUDIES UNIVERSITY



国文学研究資料館蔵『狂言絵』（貴重書）より
DOI: 10.20730/200017952